

令和2年7月豪雨からの復興

～球磨川流域の「命」と「清流」を守り、創造的復興へ～

球磨川流域に甚大な被害をもたらした令和2年7月豪雨から2年が経過しました。感謝の思いと、誰一人取り残さないという強い決意の下、本格的な復興の歩みを一層進めます。

私からのおたよりです!



熊本県知事 浦島郁夫

緑の流域治水

河川の対策

令和2年7月豪雨で堆積した土砂の撤去が完了し、引き続き河道を掘削しています。川辺川(五木村宮園)の掘削状況



逃げ遅れゼロ対策

人吉市では、球磨川の水位上昇を照明の色で警告する「ライティング防災アラートシステム」を開始しました。(令和4年4月) 危険レベル2の水の手標



山の再生・強化

治山施設・砂防施設の復旧および整備が進んでいます。芦北町塩尾に整備した砂防施設(急傾斜)



復旧・復興に向けた取組み

住まいの再建

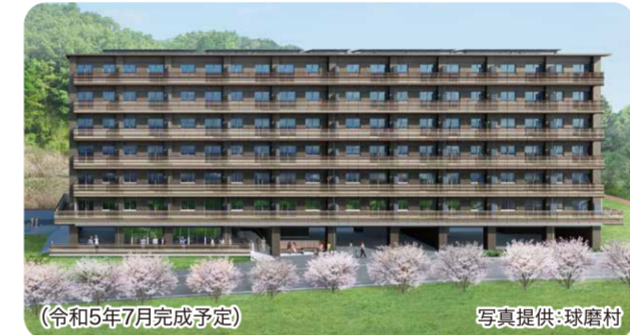
相良村、球磨村では、災害公営住宅の建設を開始しました。

相良村災害公営住宅 安全祈願祭



令和4年12月完成予定

球磨村渡地区災害公営住宅完成予想図



(令和5年7月完成予定)

写真提供:球磨村

まちづくり

八代市・人吉市・相良村・球磨村では、復興まちづくり計画を策定しました。現在、各市町村で新たなまちづくりに向けた取組みを推進しています。



相良村柳瀬地区の新たな宅地造成 (令和4年度中に完成予定)



芦北町白石かさ上げ説明会の様子 (令和4年6月)



八代市坂本町において、かさ上げ高を表示するテープを設置する様子 (令和4年6月)



かさ上げ後の宅地の高さ

国道219号・橋梁の創造的復興

国道219号は災害時に強靱で信頼性の高い避難路として機能するよう治水対策実施後の水位を目標にかさ上げを実施します。

球磨村神瀬地区かさ上げイメージ



流失した10橋のうち、9橋の復旧位置および橋梁方式が決定しました。



資料:第4回球磨川橋梁復旧技術検討会

くま川鉄道の再開

肥後西村駅から湯前駅まで部分運行が開始されました(令和3年11月)。引き続き、令和7年度中の全線開業に向け、復旧工事を実施しています。

再開後、通学生で溢れる「肥後西村駅」

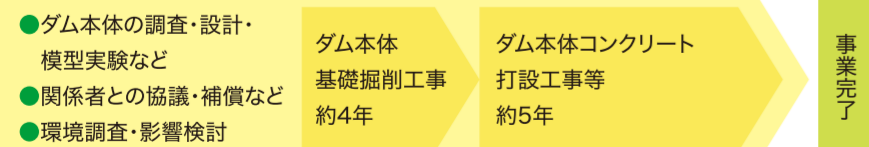


“命”と“清流”を守る流水型ダム

令和17年度(2035年度)の事業完了に向け、国において調査・検討が実施されるとともに、環境アセスメントの手続きが進められています。

流水型ダム完成までのロードマップ

令和4年度(2022年度) 令和9年度(2027年度) 令和17年度(2035年度)



●地域振興・生活再建に関する協議および実現に向けた連携
→ 協議が整ったものから速やかに着手

※上記の流水型ダム完成までのロードマップは、今後の関係者との調整等により変更の可能性があります。

出典:第4回球磨川水系学識者懇談会

教育機関と連携した取組み

県立南陵高校と熊本県立大学、東京大学が連携し、南陵高校演習林で森の保水力調査を開始しました。



なりわいの再建

人吉市の中心市街地では、国の補助金を活用して、新たな飲食店街がオープンする予定です。(令和4年12月完成予定)



観光地 人吉・球磨の復活

くま川下り「復興コース」の運航が開始されました。(令和4年7月) ラフティング「急流コース」が再開しました。(令和4年5月) 球泉洞が再開しました。(令和4年4月)

